1.17は忘れない

伝える
備える
活かす

防災マスコット
はばタン

ひょうご安全の日推進事業

この事業は、「公益財団法人ひょうご震災記念２１世紀研究機構」と「ひょうご安全の日推進県民会議」の助成を受けて実施しています。

第9回　防災・社会貢献ディベート大会

実施報告書

論題

わが国はすべての大学を指定避難所にすべきである

2018年2月

防災・社会貢献ディベート大会実行委員会

お礼とごあいさつ

防災・社会貢献ディベート大会実行委員長

中田　敬司

2010年から毎年開催されている防災・社会貢献ディベート大会の第9回大会が、2018年2月17日に開催され、無事終了しましたことをここにご報告いたしますと共に、開催にあたり様々な形でご支援ご協力いただきました皆様に心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

今大会の論題は「わが国はすべての大学を指定避難所にすべきである」と掲げました。

宮城県や地元兵庫県からエントリーした12チームが、現在の避難所の抱える問題は何か、予想される災害に対して指定避難所は十分な体制が取れているのか、また、それに対する現在の対策はどのようになっているのか、そして今後どのような対策が必要なのか等について肯定側・否定側に分かれ議論し、熱戦を繰り広げました。

各チームは、「すべての大学」や「指定避難所」について言葉を定義し、何故、すべての大学を指定避難所にするのか、を真剣に考え、様々な文献や専門家の意見を調査し、そして根拠に基づいた主張(立論)を策定して大会当日を迎えました。このディベートは当日の大会はもちろんのこと、準備の過程そのものが、防災知識の習得、論理的思考力や判断力、調査力や洞察力等を高めることになり、その教育的効果は絶大であると実感しています。

また、地域や性別、世代を超えてそれぞれの視点から捉える論題の考え方は新たな視点や発見と共に、参加者相互のネットワーク構築につながり、全体をとおして大いに意義深い大会になったと思います。

そして、今回は災害支援団体　チーム神戸　代表の金田　真須美　様を講師としてお迎えし「同時多発する避難所」と題して講演会を開催しました。実災害現場での避難所の様子についてお話しいただくと共に、今後の避難所の在り方についてあらためて考えていく機会となりました。また、同時にパネル展「災害の教訓を活かした支援活動・啓発活動」を開催し、学生たちの日常の防災への取り組みや被災地支援の様子を示し、活動の目的や工夫を共有できました。

今後も防災・社会貢献をテーマに、共に学び合える場づくりを継続してまいりたく思う所存です。どうかこれからもご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

●概要

2018年2月17日（土）　9:00～17:05

神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス B号館

参加者　287人

● 特別講演　2017年2月17日（土）16:05～16:35

「同時多発する避難所」

講師：金田 真須美 氏　（災害支援団体「チーム神戸」代表）

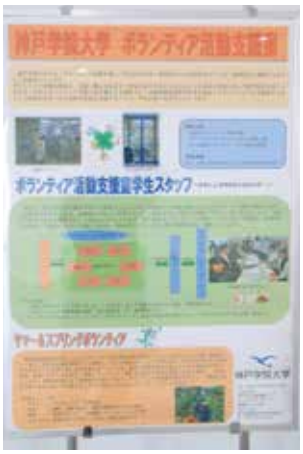
●プログラム

時　間	内　容	会　場
9:00～9:15	**開会式** ○開会宣言　○実行委員長挨拶（中田実行委員長） ○ルール説明（岡野審査委員長）　○対戦表発表	○B203講義室
9:30～12:10	予選リーグ（ブロックA～D）	○予選リーグA：B204講義室 ○予選リーグB：B206講義室 ○予選リーグC：B207講義室 ○予選リーグD：B209講義室
12:10～13:10	～昼食休憩～	
13:10～13:20	インフォメーション	○B203講義室
13:20~13:35	**進出チーム発表** ○予選リーグ総評・判定 ○準決勝トーナメント進出チーム発表	
13:45～14:45	**準決勝** ○２対戦	○B207、B209講義室
14:55～15:55	**決勝** ○1対戦	○B203講義室
15:55～16:05	オーディエンス投票	
16:05～16:35	**講演会** 「同時多発する避難所」 講師：金田 真須美 氏　（災害支援団体「チーム神戸」代表）	
16:35～17:05	**閉会式・講評・表彰式** ○決勝戦講評、大会総評（岡野審査委員長） ○表彰（賞状・賞品授与）　○閉会宣言	
17:10～18:10	**交流茶話会**（参加無料）※参加チーム、審査員、関係者のみ	○カフェテリアブレス（B号館1階）

パネル展
「災害の教訓を生かした支援活動・啓発活動」
9:00～17:00
2階EVホール

● パネル展示

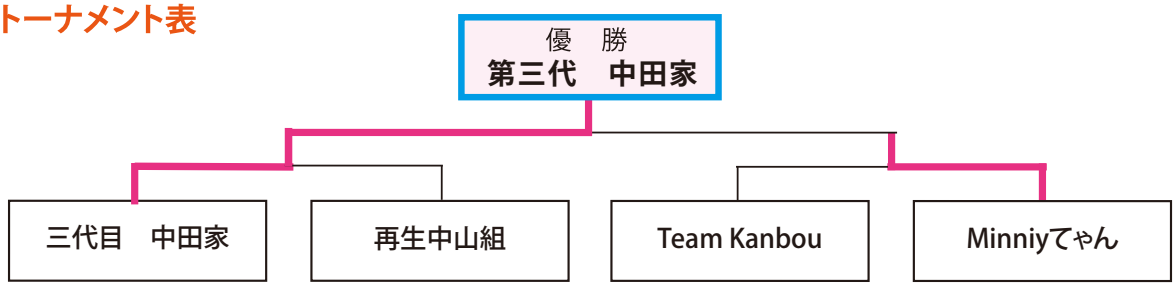
2018年2月10日（土）～2月17日（土）



大会の記録

「わが国はすべての大学を指定避難所にすべきである」

○決勝トーナメント表



○受賞者

優勝	第三代　中田家	（神戸学院大学）
準優勝	Minniyてゃん	（滝川第二中学・高等学校）
ベストハイスクール賞	Minniyてゃん	（滝川第二中学・高等学校）

優勝チーム　第三代　中田家
審査委員長奨励賞　段ノ上　晴樹さん

準優勝　Minniyてゃん
最優秀ディベーター賞　大岸　俊範さん
審査委員長奨励賞　尾崎　琴音さん

【特別賞】

立論賞	Emergency Call	（東北福祉大学）
オーディエンス特別賞	レモン	（東北学院大学）
敢闘賞	Team　Kanbou	（舞子高校　環境防災科）
最優秀ディベーター賞	大岸　俊範さん	Minniyてゃん
審査委員長奨励賞	段ノ上　晴樹さん	三代目　中田家
	尾崎　琴音さん	Minniyてゃん

岡野審査委員長の決勝戦講評

審査室の様子

● 審査員

○実行委員長

中田　敬司　　神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科　教授

○技術・審査指導、審査委員長

岡野　勝志　　株式会社プロコンセプト研究所　所長

□ディベート審査員　　13名

竹末　耕三	鈴木　昭彦	榎戸　丈夫	大下　泰高
大川　伸郎	小林　敏恒	加藤　一輝	
宮　耕	田原　圭子	大波　英幸	
香川　裕嗣	高瀬　誠	上杉　泰造	

□防災・社会貢献専門家、聴衆審査員　　13名

小山　達也　　兵庫県　産業労働部　産業政策課　政策班長 / 元・防災企画係長

垂井　加寿恵　　神戸学院大学　ボランティア活動支援室

松山　雅洋　　神戸学院大学　客員教授 / 元・神戸市消防局予防部長

安富　信　　神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 教授 / 元・読売新聞編集委員 / 社会貢献学会広報委員長

須釜　幸男　　日本保健医療大学　特任准教授

田中　義行　　一般社団法人　日本福祉タクシー協会　会長

青野　美香　　特定非営利活動法人　ジャパンハート

中野　真紀　　公益社団法人　神戸国際協力交流センター　コーディネーター

増井　哲夫　　神戸新聞社　編集局 報道部　震災担当デスク

高橋　実芳子　　ＮＰＯ法人神戸の絆2005　防災士

石田　真愛　　神戸学院大学　人文学部　人間文化学研究科　修了

高井　涼　　神戸学院大学　防災・社会貢献ユニット　卒業生

橘　みちほ　　神戸女子大学・神戸女子短期大学　図書館　課長補佐

※順不同・敬称略

参加チー

昨晩は、徹夜して挑みました。
最初は、「経済学部に防災なんて…」「ディベートやったことないし」という人が多数で、テストにも被り作業が難航しました。
しかし東北学院中高のディベート部顧問である名越先生の熱い指導の下、今日本番でやってみて「やって良かった!」という実感がありました。
ディベートはとても難しかったけど、本当にやって良かったです。
来年の就活に活かしたいと思います!

今日は、参加させていただき、ありがとうございました。
去年も参加させていただきましたが、今年はよりレベルが上がっており、苦戦することが多くありました。しかし、その中で意見を模索しながら、討論することで、私たちが考えてきた肯定側立論に対する新しい視点からの意見、または全く別方向からの意見を知り、考えることで学べたものも数多くあったと思います。
今回、私たちは決勝リーグに勝ち進むことはできず、悔しい思いもしましたが、持っている情報の少なさや、相手と討論する際の判断力、語彙力のなさなどまだまだ足らない点も多くあることを、改めて再認識することができ、いい経験になったと思います。今回学んだものを次の学年に伝え、これからもよりレベルアップしていきたいと思います。
ありがとうございました。

神戸学院大学附属高校2年 瀬川、阪本、浅野、北村

松原家の一族

すだち

Ｎｏ．２

大会終了直後、
ない参加者の
寄せてもらいま

中山組は今回初めて準決勝トーナメントに進出しましたが、残念ながら準決勝で敗退してしまいました。来年も是非参加させていただき、今年の悔いを忘れることなく、リベンジしたいと思います。

ームの声

- 経験不足であり、またルールの把握もあまりできていない状態の者もでしたので、相手様にも非常に失礼であったと反省しています。何事にも言えることですが、事前準備をしっかりそろえることが大切だと考えます。貴重な時間をありがとうございました。
- 情報共有や資料集め、練習量など全てにおいて不足していたと思います。ルールもあいまいなままでもっとシミュレーションしておくべきだったと思います。
- 今回は足を張ってしまいましたが、学ぶことはあったのでよかったです。
- 今回は緊張して自分で何を言っているかわかりませんでした。
- 今日の経験を今後に活かしていきたいと思います。

再生中山組

チームやっさん

Emergency Call

Team Kanbou

初しゅ月経で挑んだチームでしたが、10月から準備していたチームと楽しく熱いディベートが出来たことを誇りに思います。
自分たちのチーム、負けてしまったチームともに協力して結果が出せて良い経験ができました。

試合を重ねるごとにディベートへの想いが熱くなってきました。ディベートがとても楽しかったです。決勝に行けなかったのは少し悔しいですが、この悔しさをまた晴らしに来たいと思います。 Ayumi

初めてディベートをしたので、準決勝に行けておどろきました。もし、また機会があればしてみたい。応援ありがとうございました。 Kenta

自分の考えと反対のことを言うのが難しかったです。しかし良い勉強になりました。社会人になってからも、この経験をいかしていきます。 Ryunosuke

ディベートを通じて改めて、チームワークの大切さに気付くことができた。また、始めてのディベートでしたが、ディベートの楽しさを知ることができたのでよかったです。 Mizuho

後、まだ興奮の冷め
のみなさまに感想を
いました。

今大会も支えてくださってありがとうございます！

9 「わが国はすべての大学を指定避難所にすべきである」
第９回（今大会）　2018年２月１７日（土）

8 「わが国は歴史的建造物の防災・復興対策を最優先すべきである」
第８回　2017年2月18日（土）

7 「わが国は、災害危険区域内を非住宅地域として指定するべきである」
第７回　2016年２月１３日（土）

6 「わが国は『防災』を義務教育の教科にすべきである」
第６回　2015年２月２１日（土）

5 「被災自治体は未来型都市構築を最優先すべきである」
第５回　2014年２月１５日（土）

4 「わが国は大学生の社会貢献活動への支援を拡充すべきである」
第４回　2013年２月１６日（土）

3 「我が国は消防団を大幅に強化すべきである」
第３回　2012年２月１８日（土）

2 「わが国は災害対策本部を常時設置すべきである」
第２回　2011年２月１９日（土）

1 「自主防災組織の育成は最も優先すべき防災対策である」
第１回　2010年３月２２日（月・祝）

【主催】防災・社会貢献ディベート大会実行委員会
（兵庫県、神戸学院大学学際教育機構防災・社会貢献ユニット、神戸学院大学附属高等学校、兵庫県立舞子高等学校、
ポーアイ４大学連携推進センター（神戸学院大学、神戸女子大学、兵庫医療大学、神戸女子短期大学）ほか）
【共催】神戸学院大学、社会貢献学会
【協力】関西ディベート交流会（KDLA）、TKK3大学連携プロジェクト（東北福祉大学、工学院大学、神戸学院大学）
【技術・審査指導】　岡野　勝志氏（関西ディベート交流協会（KDLA）顧問）
【後援】アジア防災センター、国際復興支援プラットフォーム、公益財団法人兵庫県国際交流協会、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター、
JICA 関西、CODE海外災害援助市民センター、朝日新聞神戸総局、共同通信社神戸支局、神戸新聞社、時事通信社神戸総局、
日本経済新聞社神戸支社、毎日新聞神戸支局、サンテレビジョン、読売新聞神戸総局、NHK 神戸放送局、ラジオ関西

【協賛・寄付】
TOA 株式会社、株式会社ジーベック、株式会社ノルメカエイシア、株式会社 都工業、第一コンテク株式会社、株式会社コンプラス、
特定非営利活動法人映像記録、はんこ広場神戸元町店、田中義行様、林洋克様、橋本正権様、藤井一博様、土肥克次様、株式会社アルト、
清家隆幸様、青野美香様、高村信孝様、会社消防ユニフォーム、松尾紀明様、前山英男様、向井亮裕様、Bowls Kitchen様、栗林和枝様、
板東淳様